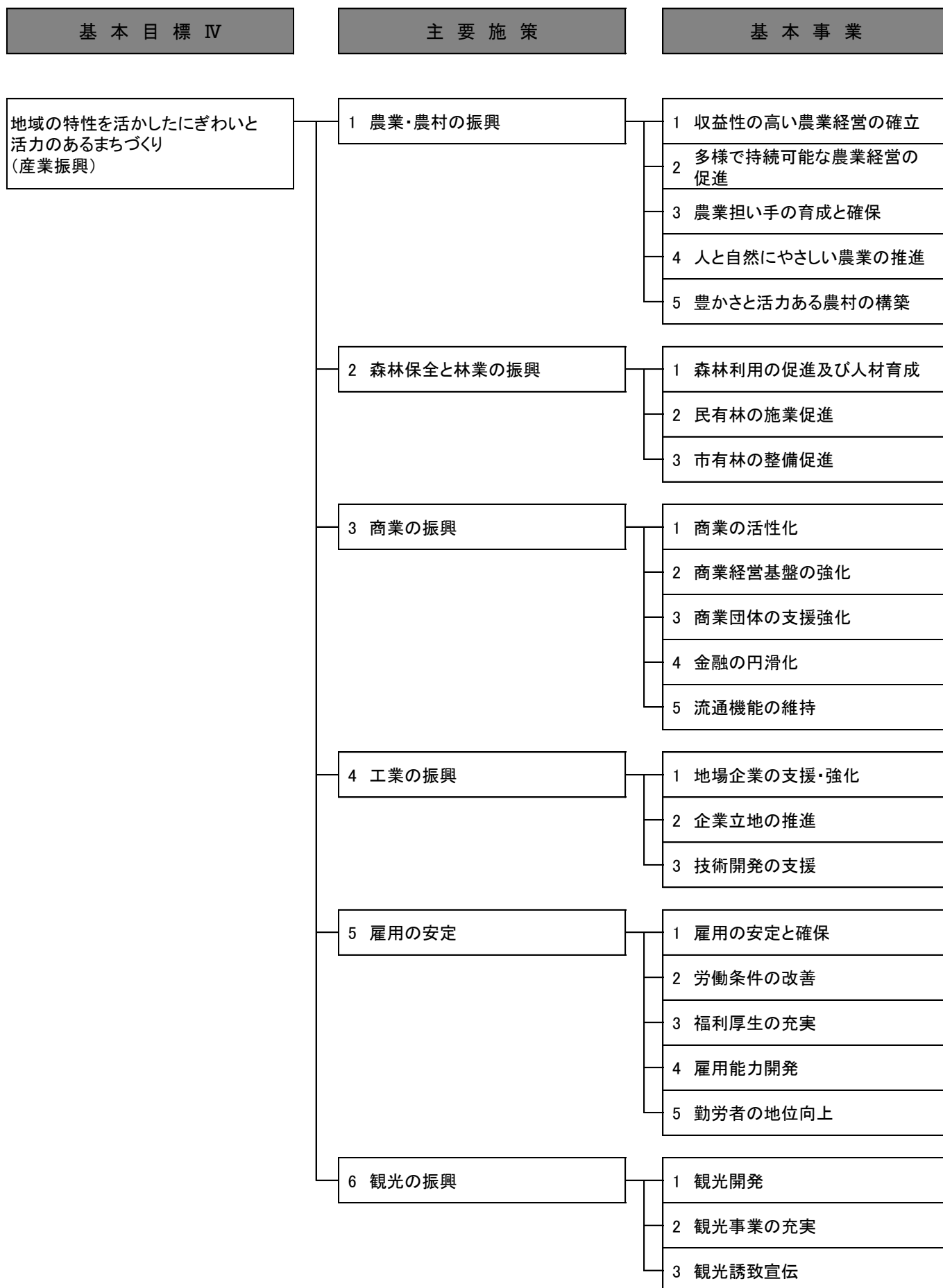


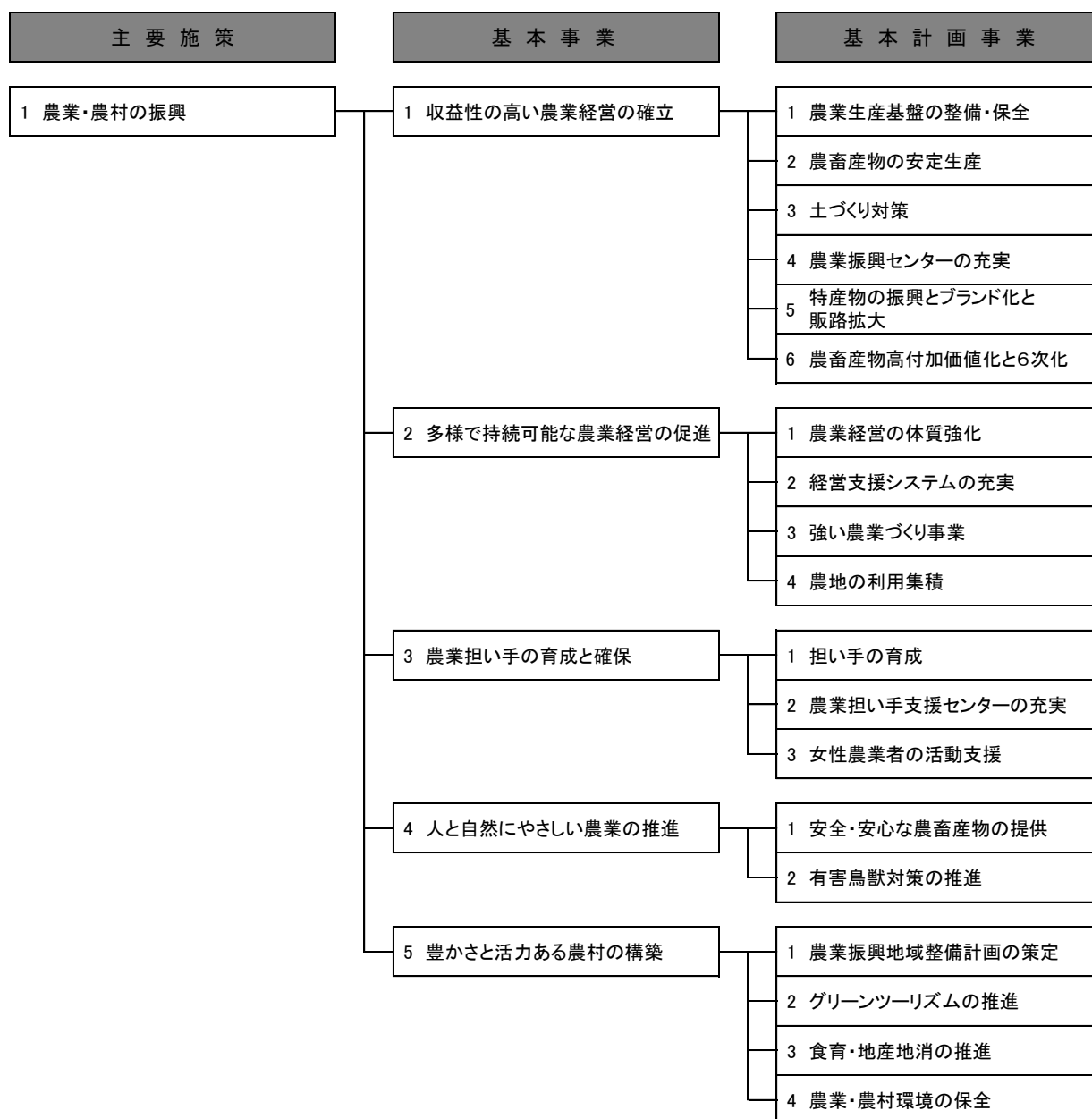
## IV 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり

### 施策の体系



## IV 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり

### IV-1 農業・農村の振興



#### 1 収益性の高い農業経営の確立

##### 【現状と課題】

- ◆収益性を高めるためには、農地の利用集積や作業機械の大型化に対応できる区画拡大により、農作業の効率化を図りコストの低減に取り組むとともに、湿害対策として暗渠排水などの整備により安定的な生産に取り組む、産地化・ブランド化を図る必要があります。また、6次化などによる加工・販売により付加価値向上を図る必要がありますが、ノウハウを持つ他業種との連携が必要となります。

## IV 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり

### 【基本的な方向性】

□農畜産物の安定生産と収益性の向上を図るため、生産基盤の整備・保全に取り組み、農業経営の安定を図るとともに、高収益作物の導入及び付加価値向上に取り組みます。

### 【実現の方策】

- ◎生産基盤整備の推進に向け、農業基盤の整備・保全事業を実施します。
- ◎高収益作物の振興に取り組み、産地化を図るとともに、土地利用型作物の収益性向上に努めます。
- ◎良質な農産物を安定的に生産するため、緑肥作付や輪作などによる土づくりに取り組むとともに、土壌診断や新たな栽培技術の普及・指導や新品種の導入に向けた試験を農業振興センターにおいて実施します。
- ◎農産物のブランド化に取り組み、海外輸出を含めた販路拡大につなげていくとともに、地域特性を活かした農産物生産の取組に努めます。
- ◎農畜産物の付加価値を高め収益性の向上を図るため、一次加工の取組や商・工業者や市立大学などとの連携による加工品開発など、高付加価値化に努めます。

## 2 多様で持続可能な農業経営の促進

### 【現状と課題】

◆担い手不足や農業者の高齢化により、農業者数は年々減少する一方で経営規模の拡大により、労働力の確保が課題となっています。また、農地の受け手となる担い手の規模拡大が限界に近づいてきていることから、コントラクターなどの多様な担い手や、雇用労働力の確保が課題となっています。また、作業負担の軽減を図るためGPSなどの利用やICT化に向けた環境整備が課題となっています。

### 【基本的な方向性】

□労働力確保に向けて作業受委託組織やコントラクターなどの育成や雇用労働力の確保の取組を推進します。冬期間の就業確保による通年型雇用を実現するため他産業との連携を検討する必要があります。また、GPSなどの利用やICT化に向けて新たな技術導入を推進していきます。

### 【実現の方策】

- ◎経営基盤の確立や休日制・給料制による雇用労働力の確保に向け、法人化の推進に取り組むとともに、酪農ヘルパーなどによるゆとりある農業経営の支援に努めます。
- ◎農業労働力不足を補うため、作業受委託の推進や異業種との連携など雇用労働力の確保に向けた取組を推進します。また、農作業の省力化を図るため人工衛星の活用やICT化などの新たな技術導入に向けた研究を実施します。
- ◎高齢農業者がより長く農業に携われるように、作業負担の少ない軽量作物の導入及び農業の知識や技術を活かせる環境づくりに努めます。
- ◎計画的な農地集積を進めるための取組に努めます。

## IV 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり

### 3 農業担い手の育成と確保

#### 【現状と課題】

◆新規就農者は毎年確保されてはいますが、離農者数に追いつかない状況です。今後の担い手確保においては、農外からの新規参入も視野に入れて進めていく必要がありますが、受入れ体制や住宅確保などの課題があります。また、農業青年・女性については個々の経営はもとより地域の農業を守るうえでも重要な役割を担うことから、経営や栽培技術の研修など活動の支援が必要です。

#### 【基本的な方向性】

□新規就農者に対する研修や新たな農作物の取組などの活動を支援していきます。また、新規参入者の受け入れを促進するため、研修や就農後の指導・支援など必要な体制の整備に取り組むとともに、農業青年・女性の活動の支援に取り組めます。

#### 【実現の方策】

- ◎地域農業の中心的な担い手を育成するため、農業経営の改善や栽培技術の修得に向けた研修や活動の支援に取り組むとともに、配偶者確保に努めます。
- ◎新規参入による就農者を確保するため、研修から就農までの道筋を示す就農モデルの構築や地域の受入れ体制の整備に向けた取組と、就農体験など段階的に農業に携われるよう幅広く募集できるメニュー化を検討し進めます。
- ◎女性が経営や地域での方針決定に参画できる環境づくりと、農産物加工、直売など女性グループ活動の支援に努めます。

### 4 人と自然にやさしい農業の推進

#### 【現状と課題】

- ◆冷涼な気候条件を活かし、農薬などの使用を抑えた栽培により安全安心な農産物の生産に取り組んでいく必要があります。また、農業廃棄物について引き続き適正な処理に取り組んでいく必要があります。
- ◆有害鳥獣による農産物被害を防止するため、適正な駆除活動に取り組む必要があります。

#### 【基本的な方向性】

- 消費者ニーズに応える安全安心な農産物の生産と、減農薬栽培の取組を進めるとともに、有機栽培についても取組を推進します。また、耕畜連携による排泄物の利用など資源循環の取組を進めます。
- 有害鳥獣対策については、関係団体や地域の協力のもと進めていきます。

## IV 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり

### 【実現の方策】

- ◎消費者ニーズに応える安全安心な農産物を生産するため、土壌診断を活用した減農薬栽培や有機栽培の認証に向けた取組を推進していきます。また、耕畜連携による家畜排泄物の利用など資源循環の取組に努めます。
- ◎農業廃棄物の適切な処理に努めます。
- ◎有害鳥獣による農産物被害の防止に向けて、駆除活動を実施します。

## 5 豊かさや活力ある農村の構築

### 【現状と課題】

- ◆農業振興地域については、一部に現状と合わない状況があることから、見直しに取り組む必要があります。
- ◆グリーンツーリズムによる市民や大学生との交流が進められており、農業への理解が深まっていますが、受入れ農家の拡大はあまり進んでいない状況です。また、農家戸数の減少により地域のコミュニティ形成や農業施設及び多面的機能の維持が課題となっています。
- ◆農村地域の道路については、居住者の生活道路はもとより農産物生産のための経済流通道路であり、砂利道の舗装化が必要です。

### 【基本的な方向性】

- 農業振興地域における適正な農地の管理を進めるため、現状を把握するとともに必要に応じて見直しに取り組みます。
- 農業・農村に理解を深めるグリーンツーリズムや食育活動を通じて、地産地消の推進に取り組みます。農村地域の道路については舗装化を図り、快適な道路空間を創出し農作物の流通及び一般交通の利便性を高め、農業生産物の商品価値、生産性の向上を推進します。

### 【実現の方策】

- ◎農業振興地域における適切な農地管理に努めます。
- ◎市民農園の活用や農業体験・グリーンツーリズムを通して、農業・農村への理解を広げるとともに、大学や各学校とも連携した取組に努めます。
- ◎地産地消を推進するため、消費者と生産者との交流の構築や食育活動や学校給食での地場農産物活用に努めます。
- ◎農村地域の交通の利便性、農業生産物の流通を推進し生産性の向上、農業経営の安定を図ります。

## IV 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり

### 主な計画事業

<前期>

■国営造成施設管理体制整備促進事業

<前期・中期>

■農道整備事業 ■道営水利施設整備事業 ■道営農地整備事業 ■市営牧場整備事業

■土壌改良指導事業 ■農業振興センター事業 ■ブランド化の推進と販売拡大事業

■高付加価値化と6次化の推進 ■労働力確保対策事業 ■農業振興資金融資事業

■農業後継者対策事業 ■担い手育成支援事業 ■新規就農者確保対策事業

■農村女性活動支援事業 ■有害鳥獣駆除対策事業 ■農業・農村交流促進事業

### 用語解説

【6次化】

※1次産業としての農業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等を一体的に取り組み、地域資源を活用し新たな付加価値を生み出す。

【土地利用型作物】

※小麦や大豆など栽培における作業が機械化され、大きな面積で作付が可能な作物。

【コントラクター】

※農作業機械と労働力を有して、農家から農作業を請け負う組織。

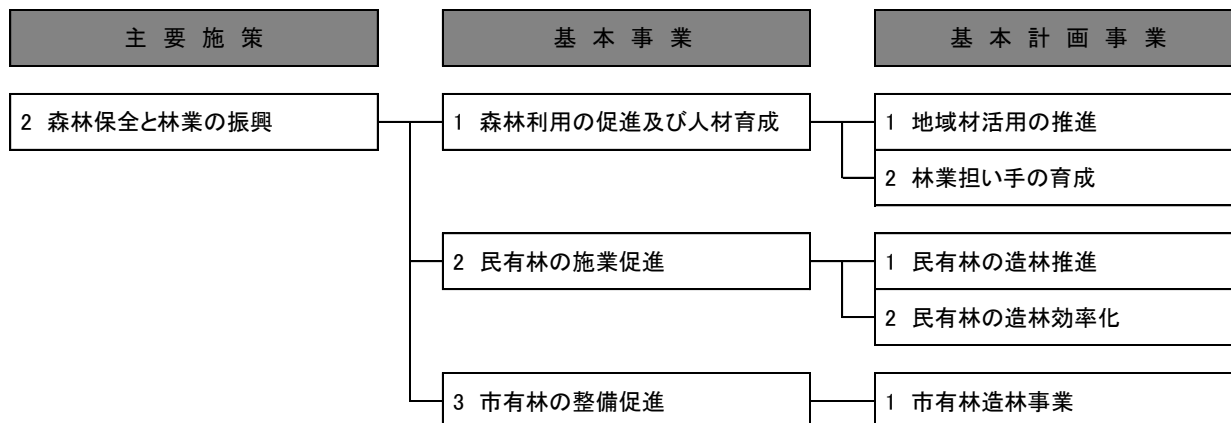
【酪農ヘルパー】

※酪農家に代わって、搾乳や飼料給与などの作業に従事する人。

【グリーンツーリズム】

※農村地域において自然や文化、人々との交流を楽しむ滞在型余暇活動のことで、農業生産活動や農作物を仲立ちとした人的な交流をしたもの。

## IV-2 森林保全と林業の振興



### 1 森林利用の促進及び人材育成

#### 【現状と課題】

- ◆木材価格の低迷などを背景とした森林所有者の施業意欲減退及び林業労働者の高齢化が進んでいます。

#### 【基本的な方向性】

- 森林所有者の施業を集約・効率化し地域の森林資源を保全するとともに、林業の担い手を育成します。

#### 【実現の方策】

- ◎民有林と市有林の造林事業を推進し、地域の森林資源の保全を図るとともに、水源かん養や災害防止などの公益的機能保全を図ります。
- ◎林業担い手の育成確保に向けて、事業主などと連携し担い手対策事業を推進します。

### 2 民有林の施業促進

#### 【現状と課題】

- ◆価格低迷を背景とした民有林の造林意欲が低下しており、さらなる施業集約化と作業路網の整備が求められます。

## IV 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり

### 【基本的な方向性】

□民有林の造林推進に向けた補助事業を実施するとともに、森林所有者の意向調査を通じた民有林造林の効率化を図ります。

### 【実現の方策】

- ◎民有林の造林推進に向けて、補助事業を実施し、人工造林や間伐、野そ駆除を進めます。
- ◎森林所有者の造林事業に対する意向調査を進めるほか、作業路網の整備により施業効率化を図ります。

## 3 市有林の整備促進

### 【現状と課題】

◆推進伐期に到達する面積はカラマツとドマツを合わせて、今までどおりの補助事業費内で、年間5ha程度の皆伐、造林を実施した場合、総合計画(第2次)終了時の平成38年には265ha程度に達する見込みであり、計画的な伐採と植林が必要です。

### 【基本的な方向性】

□補助事業を活用して市有林の造林を進めるとともに、木材資源の有効活用を図ります。

### 【実現の方策】

- ◎売払収入を活用して、皆伐・植林面積を現在の年間5haから年間10ha～20haの間で実施し、平成38年時点の推進伐期面積を215ha～115ha程度まで縮小します。
- ◎間伐事業については推進伐期を迎えた市有林にも実施し、補助事業を活用して森林の長伐期化と大径木の生産を目指します。
- ◎各種施業を実施することにより、森林資源の循環及び雇用の創出を図ります。

### 主な計画事業

<前期・中期>

- 森林整備担い手対策事業(森林作業員就業条件整備事業) ■民有林林業振興推進事業
- 森林整備地域活動支援交付金 ■市有林造林事業

## 用語解説

### 【長伐期化】

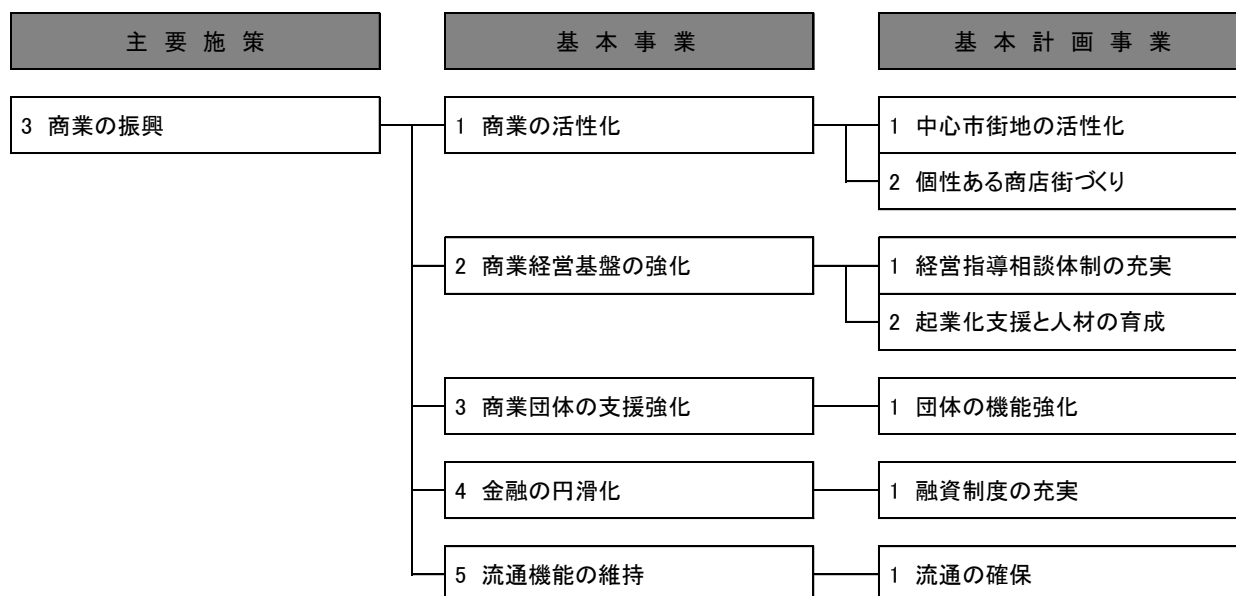
※伐採適齢期を超え長期間育成したうえで伐採すること。

### 【大径木】

※長期間育成により太らせた樹木のこと。



## IV-3 商業の振興



### 1 商業の活性化

#### 【現状と課題】

- ◆大型店の進出、消費者ニーズの多様化、後継者不足などにより、中心市街地の商店数は減少し、空洞化が進行しています。

#### 【基本的な方向性】

- 活気ある商店街づくりのため、多様なサービス提供など魅力ある店づくりに向けた取組を推進するとともに、集客力の高い商店街づくりに向けて支援し賑わいのある魅力的な商店街づくりを目指します。

#### 【実現の方策】

- ◎魅力ある商店街づくりを進めるため、空き店舗の活用やファサード整備事業等により個性ある商店街づくりを推進します。
- ◎民間と連携した市街地の再整備などにより、まちなかへの新たな人の流れを創出するなど、中心市街地の活性化を推進します。

## IV 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり

### 2 商業経営基盤の強化

#### 【現状と課題】

- ◆ 今後さらに人口減少が進むとともに、既存の事業者の廃業増加が見込まれる中、市外から移住し起業する者に対する補助制度の創設など創業・第二創業の支援制度の補完・拡充が必要となってきました。

#### 【基本的な方向性】

- 既存店舗や事業所の持続的発展に向けた支援等を行い、事業者の経営基盤の強化を目指します。

#### 【実現の方策】

- ◎ 小規模事業者や中小企業への経営相談、地域振興事業など地域経済の活性化を担っている支援機関との連携により、中小企業などへの相談体制の強化に努めます。
- ◎ 創業相談窓口を設置し創業支援の強化を図ります。
- ◎ 経営向上安定のため、各種制度の充実を図り、個別経営指導の徹底や研修制度の活用を推進します。
- ◎ 起業化支援と人材の育成に努めます。

### 3 商業団体の支援強化

#### 【現状と課題】

- ◆ 地域商業の担い手そのものの減少や、商業団体に加盟しない個店の増加などにより、その活動が停滞してきています。

#### 【基本的な方向性】

- 現在組織されている商業団体(商店街振興組合など)の活性化を図り、地域商業の発展を目指します。

#### 【実現の方策】

- ◎ 商業関係団体などの活動を積極的に支援し、その機能強化と活性化を推進します。

### 4 金融の円滑化

#### 【現状と課題】

- ◆市内金融機関等との連携強化を図り、国や道の融資制度の情報提供や、市内中小企業等の経営実態に即したきめ細やかな支援制度の検討が必要です。

#### 【基本的な方向性】

- 経営の安定や設備投資を促すために国や道の融資制度の情報提供や、市内中小企業等の経営実態に即した市融資制度の整備を目指します。

#### 【実現の方策】

- ◎中小企業等の融資制度を充実させるとともに、各種制度について金融機関等と連携し周知・活用に努めます。

### 5 流通機能の維持

#### 【現状と課題】

- ◆本市及び上川北部の安全安心な青果などの流通機能の維持を図るため、最低限必要な施設の維持・管理を行うことが必要です。

#### 【基本的な方向性】

- 生鮮食料品の安定供給のため物流システムの維持に努め、農林業との連携による地場産業の活性化を目指します。

#### 【実現の方策】

- ◎本市及び上川北部の流通を確保し機能維持に努めます。

#### 主な計画事業

<前期・中期>

- 中心市街地近代化事業 ■商店街等活性化事業 ■住宅改修等推進事業補助金
- 中小企業振興条例に基づく各事業 ■情報化促進と情報提供・商業指導育成対策事業
- 商工振興事業 ■創業支援事業 ■物産振興事業
- 中小企業経営等融資事業・特別融資利子、保証料補給事業

### 用語解説

#### 【ファサード】

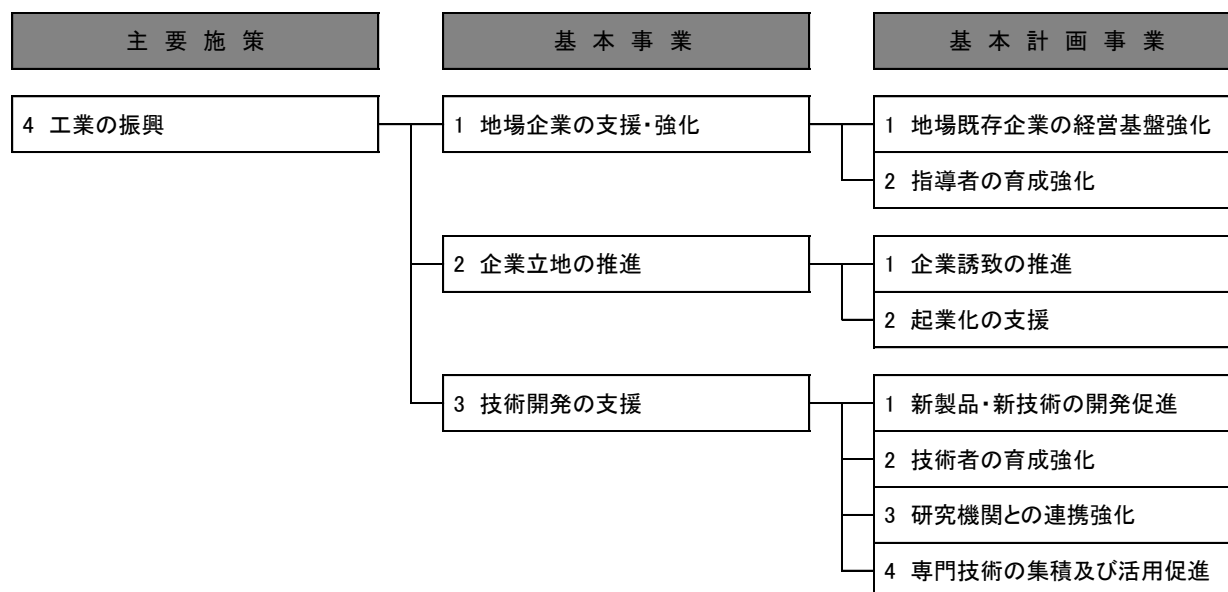
※建物の正面。

#### 【第二創業】

※従来から行っている本業とは別に新規に事業を立ち上げること。または新たな技術や市場に進出して事業を大きく発展・変革させること。

## IV 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり

### IV-4 工業の振興



#### 1 地場企業の支援・強化

##### 【現状と課題】

◆事業主の高齢化や後継者不在などにより、地場企業のさらなる減少が危惧されることから、既存の企業の経営資源を継承し事業を行いたい者と後継者を探している企業とのマッチングなど、国や道の事業承継や創業・第二創業の支援制度周知・活用や市独自の制度創設など、商工業支援機関との連携による支援体制整備の必要があります。

##### 【基本的な方向性】

□経営基盤の強化、経営の安定化を図り、地場企業の成長や地域経済の活性化を目指します。

##### 【実現の方策】

◎地場企業の育成と経営体質の強化に努めるとともに、既存企業の近代化、経営基盤強化のため各種支援制度を充実させ、制度の活用を促進します。

## IV 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり

### 2 企業立地の推進

#### 【現状と課題】

- ◆企業立地にかかる国や道の支援制度は幅広く、また、関係法令も多岐にわたり専門性が非常に高いことから、行政と商工業支援機関が積極的に情報の収集を行い、企業誘致や起業につながるよう継続した情報発信を行う必要があります。

#### 【基本的な方向性】

- 新しい技術や製品開発力の向上に取り組める環境整備、企業支援・育成を図るとともに、各種教育研究機関と連携し地場資源活用型の企業立地を目指します。

#### 【実現の方策】

- ◎企業立地制度の充実を図り、地域の特性を活かした新規企業の誘致活動を展開するとともに情報収集に努めます。
- ◎地場産品を活用した企業の支援を強化します。

### 3 技術開発の支援

#### 【現状と課題】

- ◆市外も含めた研究機関の支援制度や調査研究メニューの情報収集と企業などへの周知を図る必要があります。また、技能者の人材不足とりわけ若年技術者が不足していることから、技能者育成にかかる支援制度の見直し・拡充も含めた対策を今後も関係機関や団体と協議・検討していく必要があります。

#### 【基本的な方向性】

- 農林業との連携により地域の資源、気象条件、人材を活用した技術開発を進め、産業集積をしながら企業誘致を目指します。
- 地域の特性を活かした企業誘致を目指します。

#### 【実現の方策】

- ◎地場産品を活用した付加価値の高い地場産品開発の支援に努めます。
- ◎各種教育・研究機関との共同研究、中小企業大学の活用など、技術水準の向上と経営基盤の強化に努めます。

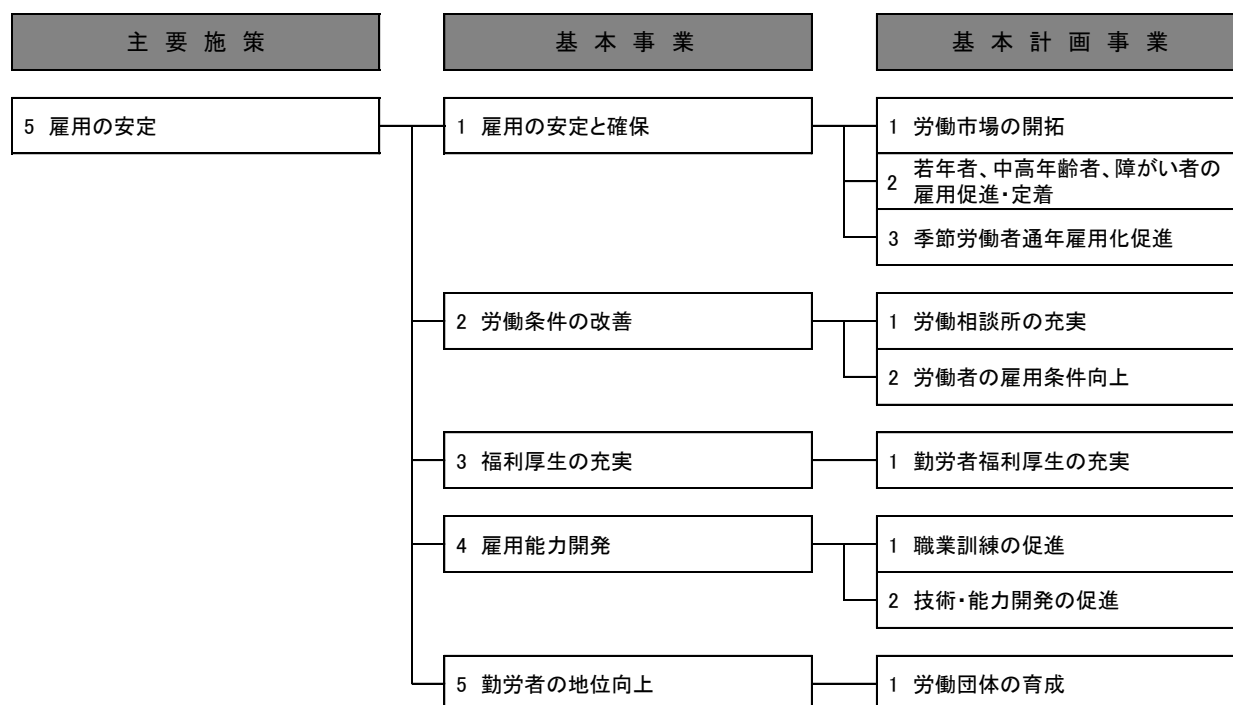
#### 主な計画事業

<前期・中期>

- 既存企業の育成強化・各種助成制度の拡充
- 情報化の促進
- 起業の促進
- 企業立地の推進
- 新製品開発推進
- 異業種交流の推進
- 産業集積の促進

## IV 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり

### IV-5 雇用の安定



#### 1 雇用の安定と確保

##### 【現状と課題】

◆過疎化の進行、人口減少や少子高齢化とともに、景気の低迷が続く中、求人倍率は回復の傾向にありますが、業種ごとにアンバランスが生じているのが現状です。企業活動の原動力となる労働力も、雇用形態を臨時やパート・派遣に求める傾向が強まっており、就業環境に変化が見られません。

##### 【基本的な方向性】

□特に人材が不足している業種に特化し、技能・技術取得のための支援をし、人材育成を目指します。

##### 【実現の方策】

- ◎建設業の人材育成のため、技能・技術に係る資格取得のための支援を図ります。
- ◎新学卒者の就職促進と若年者の地元就職促進を図り、併せて中高年齢者・障がい者の雇用促進に努めます。
- ◎季節労働者の通年雇用化のための支援や職業相談、紹介窓口の整備を行います。

### 2 労働条件の改善 3 福利厚生の実施

#### 【現状と課題】

#### 2 労働条件の改善

- ◆労働相談体制を充実させて、関係機関との連携を強める必要があります。また、パート労働者の雇用条件向上や仕事と家庭の両立を支援する必要があります。
- ◆就業形態の多様化に伴い増加している非正規雇用及び正規雇用の労働条件改善に向けた取組を進めるとともに、男女がともに働きやすい労働環境の整備に努める必要があります。

#### 3 福利厚生の充実

- ◆企業に対する各種啓発や福利厚生事業等への支援によって一定の環境整備が図られています。勤労者の就業意識や雇用形態の多様化に伴い、今後一層の労働環境整備と総合的福祉事業を推進する必要があります。

#### 【基本的な方向性】

- 労働条件の向上促進と勤労者が健康で安心して働ける環境づくり、労働福祉全体の向上を目指します。

#### 【実現の方策】

#### 2 労働条件の改善

- ◎雇用条件向上や仕事と家庭の両立支援を図ります。
- ◎労働相談体制を充実させ、関係機関との連携を図ります。

#### 3 福利厚生の充実

- ◎福利厚生制度の充実や勤労者共済会の支援を通し、勤労者の生活の安定と福利厚生の向上に努めます。

## IV 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり

### 4 雇用能力開発 5 勤労者の地位向上

#### 【現状と課題】

#### 4 雇用能力開発

- ◆従業員などの研修事業への派遣や技能労働者の育成を行い、職業能力の開発向上を図る必要があります。

#### 5 勤労者の地位向上

- ◆労働時間規則の見直しなど、労働者を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中、勤労者の地位向上を図るためには、産業振興施策と一体的に事業を展開するとともに、関係機関と連携し迅速かつ、きめ細やかな労政情報の提供を行う必要があります。

#### 【基本的な方向性】

- 産業振興施策と一体的に推進し、関係機関と連携しながら雇用の確保と拡大に関する支援、就職に対する情報提供や労働相談の充実、能力開発や技術習得機会の提供を図り、地元就職と定住促進を目指します。

#### 【実現の方策】

#### 4 雇用能力開発

- ◎人材開発センターを活用した職業知識の習得や能力開発の促進に努めます。
- ◎技能後継者の養成、技能や技術の向上と技能者の地位向上に努めます。

#### 5 勤労者の地位向上

- ◎労働団体や勤労青年団体の育成と支援を図ります。

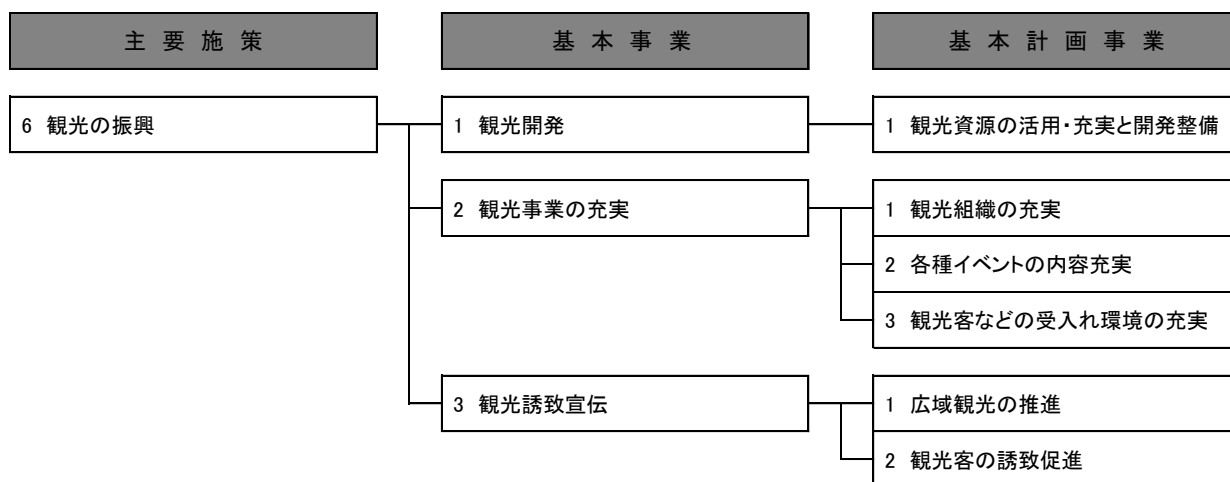
#### 主な計画事業

<前期・中期>

- 雇用促進事業 ■退職金制度普及及び促進事業 ■事業所内福祉施設支援事業
- 中小企業勤労者福祉推進事業 ■人材開発センター活用促進事業



IV-6 観光の振興



1 観光開発

【現状と課題】

- ◆観光の拠点として、恵まれた自然を活かした施設整備を進め、交流人口の拡大や地域の活性化を図ってきました。しかし、一律的な色彩の強い観光施策は、多様化する観光ニーズに対応できないといった課題があります。
- ◆農業など他産業との連携による特色ある体験型・滞在型の観光ステージづくりを推進することが求められています。

【基本的な方向性】

□観光振興計画に基づき既存観光資源の保全及び有効活用し、新たな観光資源の発掘を目指します。

【実現の方策】

- ◎豊富な自然環境との調和を基調とし、オンリーワンの体験型・滞在型観光を開発・推進するとともに、地域資源の活用や農業など他産業との連携により、食を通じた観光にも取り組みます。
- ◎日進地区などにある観光主要施設と連動させた冬季スポーツイベントの実施・情報発信に努めます。

## IV 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり

### 2 観光事業の充実

#### 【現状と課題】

- ◆交流人口の拡大や地域の活性化を図るため、「名寄市観光交流振興協議会」を組織し、オール名寄で観光事業を実施する体制を整備しました。また、観光客の受入れ環境においては、近年増加する外国人観光客を受け入れる十分な環境にはありません。
- ◆各種イベントにおいては市民の皆さまに喜ばれる内容でありながらも、交流人口の拡大が図られている状況になっていないとの意見もあり、内容の充実が課題となっています。
- ◆観光関係組織の連携、観光客の受入れ環境の整備、各種イベント内容の見直しなど、既存の環境を充実させていくことが求められています。

#### 【基本的な方向性】

- 観光振興計画に基づき既存の観光資源の保全、観光関係組織の連携強化、各種イベント内容、受入れ体制の充実を目指します。

#### 【実現の方策】

- ◎観光関係組織の充実を推進し、各種イベント内容の充実を図るとともに、観光ガイドの人材育成など、観光客の受入れ環境の充実に努めます。
- ◎観光関係組織などを中心とした観光ホスピタリティ運動の展開や市民参加型の観光イベントを推進します。

### 3 観光誘致宣伝

#### 【現状と課題】

- ◆観光の拠点として、恵まれた自然を活かした施設整備を進め、交流人口の拡大や地域の活性化を図ってきました。しかし、一律的な色彩の強い観光施策は、ニーズの多様化に十分対応したものではなく、新たな観光ニーズを見据える必要があります。
- ◆多様化する観光ニーズに対応するため、それぞれの地域の特色を活かした広域観光を推進するとともに、情報発信が求められています。

#### 【基本的な方向性】

- 観光の振興は、地域を活性化させる大きな効果が期待されるため、広域での連携を強化するとともに、市外からの観光客の誘致促進を目指します。

## IV 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり

### 【実現の方策】

- ◎北海道遺産である天塩川の恵まれた自然を活かした広域観光を推進します。
- ◎魅力ある観光パンフレット・ポスターを作成するとともに、マスメディア、ホームページ、SNSなどを活用し、市外からの観光客誘致のための活動を展開します。

### 主な計画事業

<前期・中期>

- なよろ健康の森管理事業 ■道の駅管理事業 ■望湖台自然公園整備
- 観光事業推進団体支援事業 ■地域特性イベント実施事業 ■スキー場事業(圧雪車)
- スキー場事業(リフト修繕) ■道北観光連盟事業の推進 ■なよろ温泉整備事業
- 観光振興事業

### 用語解説

#### 【ホスピタリティ】

※観光客が安心して快適に観光できるように、地域の人々が「おもてなし」の心で接し、観光客をあたたかく迎え入れること。

#### 【SNS】

※ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。人と人とのつながりを促進・サポートする、幅広いコミュニケーションを取り合うことを目的としたコミュニティ型の Web サイトのことで、代表的なものは、Facebook など。